

令和2年度品川区一般会計補正予算(厚生委員会所管分)  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策への支援について

1. 介護サービス利用者負担増分の補助

(1) 目的

国の通知により、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じている通所・短期入所サービス事業所への特例措置として、6月1日から介護報酬の2区分上位の算定を可能にすることなどが認められた。

この措置は、利用者からの事前同意が得られた場合に限り、利用者の自己負担額が増えることから、サービス提供事業者が特例措置を利用することに慎重になり、制度の利用が進まない要因となっている。

そのため、区がこの措置による自己負担の増額分を補助することにより利用の促進を図り、事業者への支援を行う。

(2) 内容

① 下記の対象サービスについて、自己負担の増額分を補助する。6月1日に遡及して適用する。

- ・ 通所系サービス  
通所介護、地域密着型通所介護、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護（介護予防を含む）
- ・ 短期入所系サービス  
短期入所生活介護、短期入所療養介護

<例>通所介護（デイサービス）

利用者：要介護度3、本人負担1割

（1回あたり）

|           | 実際に提供されたサービス | 2区分上位      | 差額     |
|-----------|--------------|------------|--------|
| 報酬区分      | 5時間以上6時間未満   | 7時間以上8時間未満 | —      |
| サービス費用額   | 8,338円       | 9,668円     | 1,330円 |
| 本人負担（1割）  | 834円         | 967円       | 133円   |
| 保険給付費(9割) | 7,504円       | 8,701円     | 1,197円 |

\*回数上限：月4回

※この部分を補助する

② 利用者の事務手続きの負担軽減を図るため、事業所を通じて補助することを基本とする。

(3) 補正予算額 31,735千円

|      |             |             |
|------|-------------|-------------|
| (内訳) | 通所介護等事業所分   | 24,420,000円 |
|      | 通所リハ事業所分    | 2,310,000円  |
|      | 短期入所緊急受入加算分 | 5,005,000円  |

## 2. 簡易陰圧装置の整備

### (1) 目的

施設内における感染拡大のリスクを低減するため、下記の入所施設に簡易陰圧装置を整備する。

### (2) 内容

<対象施設および台数>

|   |                    |     |          |
|---|--------------------|-----|----------|
| ① | 区立特別養護老人ホーム        | 7施設 | 21台      |
| ② | 〃 (看護) 小規模多機能型居宅介護 | 5施設 | 5台       |
| ③ | 〃 認知症高齢者グループホーム    | 6施設 | 6台       |
| ④ | 〃 特定施設             | 1施設 | 1台       |
|   |                    | 計   | 19施設 33台 |

<設置場所> 各施設の居室、静養室、医務室など

### (3) 補正予算額 29,700千円

(内訳) @900,000×33台 = 29,700,000円

- ・ 都の「介護施設等における簡易陰圧装置・換気設備の設置に係る経費支援事業補助金」(補助率10/10)を活用予定
- ・ 民立施設は、都が直接補助する

## 3. 介護福祉サービス従事者PCR検査の実施

### (1) 目的

介護サービスについては、各施設・事業所において感染予防対策を徹底したうえで業務を継続しているが、7月中旬以降、利用者・職員の感染例が報告されている。そこで、介護サービスに従事する全職員を対象にPCR検査(唾液検査)を実施し、感染者の早期発見による拡大防止を図るとともに、感染に対する不安を軽減することにより介護福祉サービスの継続を支援する。

### (2) 内容

|      |                      |
|------|----------------------|
| 対象人数 | 約2,700人              |
| (内訳) | 施設サービス(特養・老健) 約700人  |
|      | 在宅・地域密着型サービス 約2,000人 |

### (3) 補正予算額 43,500千円

(内訳) 介護職員PCR検査委託

@15,000×2,700人×1回 = 40,500,000円

管理事務費 3,000,000円

- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(25,000千円)を活用予定。

### (4) 検査方法

検査を受ける各施設・事業所の負担を軽減するため、検査キットを送付し、後に検査機関が回収する方法で検討している。

第56号議案

令和2年度品川区一般会計補正予算(厚生委員会所管分)  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策への支援について

1. 簡易陰圧装置の設置

(1) 目的

施設内における感染拡大のリスクを低減するため、下記の入所施設に簡易陰圧装置を設置する。

(2) 内容 対象施設 区立かがやき園 居室2室

(3) 補正予算額 4,290千円

(内訳) 簡易陰圧装置 @976,800×2台=1,953,600  
設置工事 2,336,000

- ・障害福祉サービス衛生管理体制確保支援事業補助金(補助率10/10)を活用予定
- ・国立施設は、都が直接補助する。

2. 防護服等購入

(1) 目的

従事者が感染の疑いのある利用者を支援する際に着用し、感染を予防する。

(2) 内容 対象施設 区立かがやき園、区立障害児者総合支援施設  
購入物品 防護服、手袋、ゴーグル等

(3) 補正予算額 1,049千円

- ・障害福祉サービス衛生管理体制確保支援事業補助金(補助率10/10)を活用予定
- ・国立施設は、都が直接補助する。

3. 障害福祉サービス従事者PCR検査の実施

(1) 目的

障害福祉サービスについては、各施設・事業所において感染予防対策を徹底したうえで業務を継続しているが、全従事者を対象にPCR検査(唾液検査)を実施し、感染者の早期発見による拡大防止を図るとともに、感染に対する不安を軽減することにより障害福祉サービスの継続を支援する。

(2) 内容

対象人数 約800人  
(内訳) 施設系サービス 約700人  
在宅系サービス 約100人

(3) 補正予算額 12,000千円

(内訳) PCR検査委託

@15,000×800人×1回 = 12,000,000円

・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(5,000千円)を活用予定

(4) 検査方法

検査を受ける各施設・事業所の負担を軽減するため、検査キットを送付し、後に検査機関が回収する方法で検討している。

第56号議案

令和2年度品川区一般会計補正予算（厚生委員会所管分）  
休日診療事業継続支援および新型コロナウイルス感染症対応について

1. 休日診療事業継続支援について

(1) 事業目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、休日における急病患者に対する診療事業を継続するために必要な経費について措置する。

(2) 事業内容

- ①区内医師会に対し、休日診療を継続するために必要な感染防止等諸経費について委託料を増額する。
- ②医療従事者の安全を確保するために必要な防護服等の防疫備品を配布する。

(3) 予算額

14,175千円

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 内訳）・感染防止対策等経費増額 | 10,800千円 |
| 品川区医師会          | 6,000千円  |
| 荏原医師会           | 4,800千円  |
| ・防護服等確保         | 3,375千円  |

2. 新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援金について

(1) 事業目的

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた区内医療機関に対し、安定的な経営を支援する費用として、新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関支援金を支給する。

(2) 事業内容

新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた区内医療機関に対し、受け入れた陽性患者数に応じて支援金を支給する。

(3) 対象となる期間

令和2年1月から令和3年3月まで

(4) 予算額

54,000千円

### **3. 新型コロナウイルス感染症対応医療従事者等慰労金について**

#### **(1) 事業目的**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止・収束に向けて、高い使命感を持って業務に従事する医療従事者や職員に対し、区として感謝の意を表し慰労金を給付する。

#### **(2) 事業内容**

国が実施する「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業」において、都道府県等から役割を設定された医療機関等に勤務し、給付対象となった医療従事者等のうち、新型コロナウイルス感染症患者に接し、診察・治療等に従事した者に区として慰労金を支給する。

#### **(3) 予算額**

27,900千円

第56号議案

令和2年度品川区一般会計補正予算（厚生委員会所管分）  
新型コロナウイルス感染症対応について

1. PCR検査センター運営費について

(1) 事業目的

新型コロナウイルス感染症対策として、品川区PCR検査センターの運営を継続し、今後も検査体制を強化することで、感染拡大の防止に努める。

(2) 事業内容

①かかりつけ医を受診し、PCR検査が必要と判断された場合、かかりつけ医が直接PCR検査センターを紹介し、検査センターでPCR検査を実施する。

②陽性患者の「濃厚接触者」にもすべてPCR検査を実施する。

開設日：令和2年5月12日（火）

(3) 実施方法

今後の感染拡大状況に応じ、検査日の増加（最大で土曜日を含む週6日）や1日あたりの検査時間数を増やし検査体制を強化する。また、必要に応じて医師・看護師等のスタッフを増員するなど柔軟な対応を行い、検査を必要とする患者が速やかにPCR検査を受けることができる体制を継続する。

現行は平日週4日～5日、開設時間は主に午前中もしくは午後の2時間程度。

(4) 予算額

208,026千円

内訳) 人件費、検査費用、衛生用備品、消耗品他